

諸家家業目錄

全

73

6340

1



諸家字彙目錄

73
6340

諸家家業目錄

攝家

清華

羽林家

羽林名家之外

神祇伯

文章博士

能書

親王

大臣家

名家

新家

和歌

明經

神樂



去
五
味
均
平
藏



樂

蹴鞠

裝束

陰陽道

外記

諸家家業

攝家

近衛 九條 二條 一條 鷹司

右ノ五家ヲ攝家ト云攝政関白ヲ以テ先途トシ侍ルナリ

攝政 大化抄日取要攝政ハ周ノ成王イトケナフシテ位ニ

ツキ給ヒシトキ周公旦ト云シ人叔父ニテ此成王ニカハリテ政

ヲ行ヒシヨリ攝政ハ始一リタルナリ我朝ニハ清和天皇ヲサナ

クテ位ニ昂タヒシカハ忠仁公ト云人母方ノラチニテ天子ニ

カハリテ政ヲ行ヒシ也周公旦ノ例トカマ是ヨリシテ今モ

帝王ノラサナクヲハシメス時ハ攝政アルナリ藤氏一人ノ外

此職ニ補スル事ハユメクナキコトナリ世末代ニナリタレトモ

カスカニ一人ノ外此職ニ補スルコトナキニマ誠ニマコトナキ
コトニソ帝王ニカハリテ改ヲ行ヘハタ、主上ヲナシ事ニソ
カシ任官叙位官奏コトキモミナ攝政ノ時ハ我直廬ニテ
行也凡臣下タル人攝政ノ上スルコトハナキコトナリ公事
ナトラ行フコトモナシタ、帝王ノ代ニテ御ソハニ伺候シテ
御代官ヲスル人ナリ節會ナトニモ帝王ノヲサナク一ニシ
一スニカハリテ主上ノ御作法ヲスルナリ凡攝政関白ハ
物ヲシテハカナフ一ニシキコトニコソ侍レト云々百寮訓ニ云
攝政我朝ニハ忠仁公清和天皇ノ外祖ニテ貞觀ニ周公
且ノ例ニカセテ攝政スヘキヨシ詔ヲ下カレシナリ攝政ハ
座ヲ天子ニヒトシクナラヘテ天下ノ改ヲ成敗スアレハ
天子ニヒトシクスル職ナリ

誠ニ攝政ノ職ハ且讀夕見ト称シテ我コトキ短才不
堪ノ臣シハラクモソノ職ニ有カタキコトニテ侍ルナリ

攝政ト関白ト其職相替事

仁平元年三月三日宇治左大臣記ニ云頭朝隆朝臣
来リテ示ス宸筆ノ宣命皇帝政事ヲ親ス名ハアリ
トイヘトモ其實ナラコレカタメイカ、奏シテイハク攝政ハ
則チ天子ナリ是ニヨリテ書トコロナリ関白百官ノ捻己
トイヘトモ猶臣下ノ位ニアリ其理書ヘカラスシカノミナラ
ス今モ関白宸筆ノ宣命ヲ書例ヲ見ハス

関白 大化抄曰 取要 漢朝ニ霍光ト云人宣帝位ニ即
シトキ此霍光ニ改ラ関リ白セトテ改ラアツケラレシナリ
是関白ノ始メナリ本朝ニハ陽成院昭宣公ニ萬機ノ巨細
百官ノ檢已皆関リ白セト云詔ヲ下サレシナリ是モ漢ノ
霍光ノ例ナリト云々

百寮訓ニ云関白ハ人臣ノ位ニテ只改ラ管領スルナリ
攝政関白ヲ殿下ト号シ殿ト申モ天下ニラキテハ傍若
無人ノ間衆庶是ヲ貴テ申シ付タルナリト云々
又内覧ノ宣旨トテ奏スヘカラシコト下スヘカラシコト先コ
人ニ申スヘキヨシ宣下セラレテ奏聞ヲスヘキコトヲモ又宣

下セララルヘキコトヲモ大小トモニ皆関白兼リテ其上ニテ
奏聞ヲトケ或ハ宣下シ侍ルコトナリ関白ヲ辞ストイヘ
トモナラ内覧ノ宣旨ヲノコサレシ人ヲ大閣ト称ス然ルニ
近代関白ノ又タル人ヲ大閣ト号スルノミニナレリ本儀又
子ノ儀ニヨラス前ノ関白ノ内覧ノ臣ニテ猶政務ニ交
ハリ侍ルヲ大閣ト称スルナリ又関白ヲ執柄ト称スルハ周
礼天官ニ以ハ柄詔於王取於群臣ト云ヨリ称シ侍ルニマ
諸家ノ輩ノソレノ家業モ其柄ハミナ執柄家ニ執ル
コトニテ侍ルナリ公武大禮畧記曰ヲヨソ執柄ノ家門ヲ
攝家攝政殿下ナト申侍リテ允種ニ比類スヘカラサル
コトナリ百王ノ御政務輔佐ノタメニ天地開闢ノ始

天照大神天兒屋根尊御兄弟君臣ノ御約束タリト
云々天津見屋根トハイハユル春日藤氏ノ祖神也性古
ノ御誓約今ニクチサセ給ナル故ニ一天ノ君万乗ノ主
御師範トシテ撰政関白ノ御職ヲウケツカセタマフ
然レハ禁裡ニシテハ偏ニ院官ノ御行迹ニナソラヘ侍リ
テ百氏千官ヲナサセラルタトヒ當今ノ御連枝トイ
ヘトモ執柄ノ公達ニ對シテハ各等輩ノ御礼節也ト云々
三光院ノ抄ニ云撰家ト申ハ撰政家ト云心也元来ハ近
九ノ二流ナリ近衛ヨリ出タルヲ鷹司ト稱レ九條ヨリ
別レタルヲ二條一條ト申ス是ヲ撰家ノ五流ト号近衛
ハ系圖ノ面捨領タリトイヘトモ名記是ナレ九條ハ

庶流タリトイヘトモ月輪禪閣後京極撰政峯ノ関白
ノ御記是ヲ三代ノ正記ト号シテ天下ノ鏡トスレカル間
正嫡ト見ヘ候哉シカリトイヘトモ諸家ノ用ハ五流差別
ナレ但二條ノ一流ハ南朝御出奔ノ後後光嚴院聖
運ヲ開レ當代ノ御一流正統ヲ持タル事ハ二條
一家ノ勲功也是ニ仍テ今ニ至ルニテ天下ノ御師範ト
稱スト云云三光院抄ニシルセルコトク嫡庶ノ沙汰ハ系
圖ノ上ニテ兄弟ノ儀ニヨラス家業ノ口傳并ニ先祖代
々ノ文書ヲ傳領シ侍ルヲ嫡家ト申シ侍ル事ナリ右
撰政関白ノ職家業ノ儀ホ、記シ侍リ又此上ニ

後福光
院撰政

神代ヨリ攝家代々唯一人ニサツケ相傳シ来リ侍ル
大嘗會天神地祇ヲヲロシ奉ル大事并ニ神膳ノ儀
又即位^ニ灌頂ノ大事コノ兩條代々執柄ノ人天子ニ
カツケ奉ルコトニ侍ル次ニ節會官奏叙位除目ヲ
四箇ノ大事ト名ツケテ眞信公以來代々ノ口決ヲ相傳
シ侍ルナリ是等ヲ以テ攝家ノ家業トス詩歌管絃
能書等ハイワレモ尋常モテアソヒ侍レトモ攝家ナ
トノ家業トスルモノニテハ侍ラサルコトナリ

親王
伏見 八條

右兩親王伏見ハ琵琶後崇光院コノカタ代々堪
能ノキコヘ侍ルカコノ道ニライテハ當時モタクヒナク
侍ルナリ八條ハ故式部郷和歌ヲ以テタシナシモテ
アソヒ侍ルナリ
親王ノ儀當時ハ旧儀カハリ昔ハ皇子連枝ノ中宣下
ヲ蒙ラレシヲ親王ト称ス皇子連枝ノ外ハ孫王ヨリミナ
諸王ト号シ臣下ノ官位ヲサツケラルモシ諸王ノ中御猶
子ノ儀ヲ以テ宣下ヲ蒙フリ侍ルトモカラハ諸親王ト
号ス元和十七箇條ノ新制ニ諸親王ヲ別ニシルカ
先規ニカナヒ侍ルニマ皇子連枝ニテモ宣下ヲ蒙ラサル

人ハ同ク臣下ノ官位ニス、ム皇子連枝ノ宣下ヲ蒙ルトモ
カウモ姓ヲタマハレハ臣下ノ官ニナルカクノコトクニ世以下
ハミナ諸王諸臣ノ列ニ侍リテハ公事ニシタカヒ有職
ヲ家業トシ侍ルコト也

清華

久我

三條

西園寺

徳大寺

花山院

大炊御門

今出川

石華族ノ公達ト号ス、夕清華ト称スコノホカ丞相
ニ昇ルトモカウ侍ルトモ大將ヲカ子カル家ハ夕、大臣
家ト称シテ清花ノ名ヲ不得清花ハ大政大臣ヲ以テ

先途トス其職一人ニ師範^キ儀^キ形^キ四^キ海^キ云々其人ナキ
時ハ則チカクト云々故則喇ノ官ト云但シ此中ニ五相国
ノ例ナキ家モ侍ルニマカレトモ太政大臣ヲ兼侍ルトモ
カウハミナ一例也、夕當時皇子皇孫ノ姓ヲ給リテ
又大臣大將ニ昇リ或ハ攝政関白ノ息ノ中先途ヲト
ケスレテ大臣大將ニナリ侍ルトモカウヲ清華トス近
代ツノ人ナキニ仍テ右ノ三家等英雄ノラモイラナス
モノナリ

令集解曰 取要 師トハ人ニ教ルニ道ヲ以テスルノ称ナリ
範トハ法ナリ儀ハ善也形ハ又法也四海トハ九夷ハ扶

七我六蠻也又云一人ヲ導クニ先王ノ典籍ニ准テ當
時ノ憲章ヲ施ス也是ヲ以テ人君其教ニ從ヒテ
ヨク天下ヲタモク福慶ヲ子孫ニ流フト云々
百寮訓云一人ニ師範シ四海ニ儀刑タリ國ヲ治メ
道ヲ論シ陰陽ヲ治ムル由見令カレハ王佐ノ才タクハ
ヘテ天子ヲタスケタテマツルヘキ器用ノ人ナルヘキ官ナリ
ソノ人ナケレハ闕之故曰則闕官也攝政関白ノ兼官ナリ
但執柄ハ猶上ニテアレハ大政大臣ヲハノソムコトナシ至上
御允服ノ時ハ必執柄ノ任ルナリ凡人ノ極官ナリト云々
大化抄曰太政大臣大伴皇子始テ是ニ任ス攝政関白

カケツカサナリ又凡人ハソノ器ヲエラシテ任セラルレカル
ヘキ人ナキトキハ則闕ニテラカルナリ故ニ則闕ノ官ト
申ス是モイミシキコトナリ攝政関白ニツキテハ此上
スルコトナシコレモ公事ナト行フコトハナシタ、重人ニ
テアルハカリ也ト云々

右清花ハ相国ヲ以テ先途トス清花ノ家葉ハ一人ニ師範
シ四海ニ儀刑タル才智ヲタクハへ此上ニ四箇ノ大事等
ヲ傳受シテアリヨク勵ニシ侍ルヘキナリ夫四箇ノ傳
受ハムカシヨリ諸家悉ク執柄家ヨリ授ケ侍ルヘキ
コトナリ小野宮九條兩流トテイサ、カカハリタル事ナ

ト侍レトモミナ執柄家ヨリ出タル流ニテ侍ルナリ
西宮抄ノ作者西宮元大臣ハ九條ノ右丞相ノ身子
北山抄ノ作者四條大納言ハ小野宮ノ流ニテ侍ルナリ
久我ハ元祖士御門右大臣師房村上天皇孫王ニテ
源ノ姓ヲ給ハリ臣下ナリテ家ヲタツル有職宇治
関白ノ弟子トナリテ四箇ノ大事ニテ傳受レスナハテ
猶子ノ礼ヲシテ侍レナリソレヨリ子息堀川元大臣俊房
小野宮大納言師頼トツタハリ久我相國雅實ハ堀川元
府ヨリ傳受シテ中院右大臣雅定久我大納言雅通等
相續シテ傳受ト見ヘタリ近クハ土御門大納言雅房

光明照院攝政是ヲ授ク堀川内大臣具親北畠大納言
親房等ハ後光明照院関白ヨリ傳受シ侍ルナリ三條
西園寺徳大寺今出川等ノ元祖閑院大政大臣公
季ハ九條右丞相ノ息ニテ法興院攝政等ノ舎弟ニテ
侍レハ公事ノ作法以下ミナ當流ヲ傳ヘテ侍ルナリ
然シテ三條内大臣公教徳大寺右大臣公能ハ元大臣
有仁ヨリ傳受ス有仁ハ久我相國雅實ノ身子ナリ
三條元大臣實房ハ中御門元大臣ヨリ相傳スミナコレ
久我相國ノ末ニテ侍レハ當流勿論ナリ又西園寺常盤
井相國實氏光明峯寺ヨリ相傳ヲウケテ子息冷

泉相國へ傳へ侍ルヨシ見へタリ花山院ノ元祖左大臣
家忠大炊御門ノ祖贈相國經實等ハ京極攝政ノ息
後二條関白ノ舍弟ニテ侍レハ門弟勿論ナリ但太
政大臣忠雅ハ九條相國伊道ヨリ相傳ノ由見へタリ

大臣家

三條 三條西 中院

右大臣家ト号シテ内大臣或ハ右大臣ニテナル家ナリ
攝政関白大政大臣ナト公事ヲ行フコトナトニ依テ
官中ノ公事ハミナ以テ左大臣ノ奉行スルコトナリ左大
臣不參ノトキハ右大臣内大臣ツカサトルコト左大臣ニ

同シ大化抄日左大臣ハミコトニ人ヲエラシテ任セラルヘキ
官ナリ左大臣ヲ一上ト云ナリモロノノ公事ミナ左大
臣ウケタマハリテラコナフナリ節會内辨官奏上卿
除目叙位執筆以下ノ大事ミナ一上ニラホセラルコト
ナリモシサハリアルトキハ次ノ大臣ニイリテラコナフナリ
ト云々

百云左大臣モロ々々ノ一ツリコトヲ奉行スナル大臣ニハ
一上ノ宣下ト云事アリ第一ノ臣下ナレハ大政官ノ事ヲ
コトノ、ク沙汰スルナリナニコトモ禁中ノ公事ハ一上ノ
ニイリテ行フコトナリ不參ノ時ニハ次ノ大臣大甲納言モ

奉行スルコトニテ侍レコレモ中院開院ノ黨重代ノ人々、
才能ニヨリテ任スルナリ昔ハ文才ナキ人ノ任大臣コト
ハナキコトナリ中古以來ハ譜代トテ兵才兵能ノ人モ任
ル政ノスタレタルナリ右家業ノ更四箇大事有職故實
ヲム子トシ侍ルコト清花ニ同シ傳受ノ次第右ノ清花ノ
餘胤ニテミナ當流ノスエナリ近クハ後稱名院内大
臣公保ハ後福照院攝政道遥院内府実隆ハ大深金
剛院関白ヨリ傳受

羽林家

四辻 中山 飛鳥井 冷泉 六條 阿野 清水谷

小倉 橋本 姉小路 綾小路 庭田 松木 持明院

滋野井 川鱈 水無瀬 園 難波 白川 四條

鷺尾 山科 西大路 油小路

已上先祖ヨリ近衛司ヲ經中少將ヨリ昇進シ侍
リテ武官ヲカ子劔笏ヲ帶スルヲ羽林次將ト云テ
諸ノ宿衛禁軍ノコトヲツカサトルナリ中少將ヲ經ルハ
攝家清華以下羽林家ナリ多クハ英雄ノトモカラナ
ル事ナリシカルニシイテ大臣ノ子孫ニアラサレテ先祖
ヨリ成ツケタル家コレアリ中ニモ宰相ニ中將ヲ兼テ任
スルハ元ノ三家ノ餘流ナリナニカシノ宰相中將ト稱シ

侍ルナリ或ハ羽林方ニ藏人頭ヲカ子テ頭中將ト称ス
一タ規模ナリ辨官ヲ兼帯スルハ公達ノ中才名アル人
ノコトナリコトニコレテ執^レシ侍ルナリ右大納言或ハ中
納言參議等ヲ以テ先途トスルナリ納言ニナル家
ハ大臣ノ與奪ニヨリテ節會官奏叙位除目以下ノ
公事ヲ行ヒ侍ル故ニ大臣ノ職掌ニヒトシキモノナリカレ
此家ニモ有職故實ノ儀ヲ家業トシ侍ルコト右ニヲナ
レ但シコノ中ニモ神祇伯ハ神道ヲ以テ家業トス和歌
蹴鞠等ノ類オウニ充ニ記シ侍ルモノナリ

名家

日野 廣橋 烏丸 柳原 其露寺 葉室

万里小路 勸修寺 中御門 清閑寺 小川坊城

竹屋

己上先祖ヨリ文筆ヲ面トシテ儒道ヲマナフ弁官ヲ
經歷シ職事ヲ兼ル家ナリルソ辨官ハ管轄^{クワンカフ}ノ任權
衡ノ職トシテ官中ノ事大辨トリヲユナフ取ナリ仍テ重
職タリ此職事ハ天下ノ訥詔諸人ノ所望親疎ヲ論セ
ス貴賤ライハス天聽ニ達スル職ナリ辨官職事ニ延
尉ヲカヌルヲ規模トシ侍ルナリ右近代任槐数代ノ
家アリ又一代ノ家アリ或ハ准大臣ノトモカラアリ

ナヘテハ大納言以下ヲ以テ先途トス此中竹屋ハ参議以上ノ例見ヘス然トイヘトモ名家ノ一列ナリ名家ノ葉ハ儒学ヲ面トシテ有職故實ヲ兼行シ侍ルナリ名家ハ才名ヲ以テ家ヲ立侍ルユヘコトニ代々名記ナト記シ置侍ルナリ有職口傳等掾家ノ流ヲウケ侍ル事右ニ同シ

羽林名家之外

- 高倉 高过 五條 坊城 唐橋 五辻
- 竹内 富小路 舟橋 土御門

以上名家羽林ノ外ナリ此中ニモ名家同准ノ家アリ

シカルニ中少將弁官等ヲ經歷セサルトモカラハシハラク名家羽林ノ外ニ記シ侍ルナリニ夕大納言ニ任スル家アリ或散二位三位ヲ先途トスル輩侍ルナリ

新家

- 松殿 藪内 堀川 樋口 平松 冷泉
- 日野西 藤谷 櫛笥 東園 久世 花園
- 裏过 岩倉 七條 梅園 千種 塩小路
- 倉橋

以上新家ナリ各當代本家ヨリワカレテ更ニ家ヲタテ侍ルトモカラナリ右掾関清華大臣家

羽林名家以下當時一家ノ家督タルトモカフラ
シルシ侍ルモノナリ此中別ニ家業アルトモカフカラニ
又充ニ記シ侍ルナリ

神祇伯

白川

代々伯ニナリテ大神宮神祇官等ノ事ヲツカサトル
又主上執柄有障トキハ毎日ノ御手代ノツトメ侍ルナリ
昔ハ諸氏混シテ任ス一タ高家ノ人是ニ任ス中古以
来王氏トテ白川譜代シテ任シ侍ル也又副^フ祐史^シアリ
大中臣ト部齊部伊歧氏等

和歌

二條 冷泉

飛鳥井

三條西

右二條冷泉ハ五條三位ワカレノ始ハ為氏為相飛
鳥井ハ參議雅經三條ハ逍遙院内府以来ノ事ト
見エタリ當時ハ中院大納言阿野大納言水無瀬中
納言ナト多年歌家ヲハケニシ侍シナリ

文章博士

高辻 坊城 五條

近代三家相續テ任シ来ル大内記モ此家譜代ト
ナレリ以前ハ右ノ名家ノ中日野或ハ南家以下ノ

諸氏ノ中ヨリ才智アル輩ヲ任セラル唐橋ナトモ
近代儒業ヲ失ヒ侍リシナリ文章博士ハ紀傳ノ
儒トシテ史書ヲマナヒ諸ノ文章ノ事ヲ司トル又内記
ハ詔勅宣命等ヲ書コレニヨリテ文筆相兼タル人ヲ
任スルナリ是等近代管家ノ家業トナリ侍ルナリ

明經

舟橋

右代々明經博士ニ任シテ本經ヲ家業トマナヒ侍ル
又中家モコレヲ家業トス然ルニ清原良枝七代ノ侍
讀タリ七旬ノ耆老トナリテロツカラ六經ノ説ヲ授

ケ奉ル古今未曾有也云々

本朝四道ノ儒ハ紀傳明經明法筆道ニテ侍ル紀傳
明經ハ右ニ見エタリ明法ハ律令格式ヲマナフ坂上中
原ノ兩流家業トス近代ナキカコトシ筆道ハ三善小
槻ノ兩流是ヲ家業トス善家ハ筆術ヲ習ヒ小槻ハ諸
國ノ調賦筆勅ノタメニ其職ニ居ル善家ハ西園寺ノ
諸大夫ナリ近代断絶ス小槻ハ官務ナリ事ノワイテ
二四道ノ儒ノ事記シ侍ルナリ

能書

清水谷

持明院

右ムカシヨリ能書ノトモカウアマタ侍レトモ權大納言
行成以來譜代シテ家業トナリ侍レハ世尊寺ノ流
ナリ又近代清水谷モ相傳ス彼等斷絶ノ後持
明院ハ權中納言基規以來口決ヲワタヘ置侍ト見
ヘタリ

神樂

綾小路

持明院

四过

庭田

五过

鷺尾

藪内

滋野井

右綾小路ハ刑部卿政長堀川院郢曲御笛ノ
師ニ参リテヨリ代々御師トナリテ郢曲和琴箏笛

笙箏篳篥等ヲ相傳シキタリ侍ル三代ノ天子ノ師
範ニテ鈴虫ノ中納言ト世ニ稱シ侍ルモ此先祖ナリ此
外和歌蹴鞠馬鷹等ノ道モ代々兼行シ侍リシ家
ナリ庭田モコノ餘胤ニテ鷺尾モ當時沙汰セズ藪内
滋野井譜代ノ儀ニアラスカレトモ當時替古ヲハケミシ
参勤シ侍ルナリ

樂

和琴

四过

大炊御門

琵琶

伏見 西園寺 今出川 園 綾小路

箏

四过 正親町 綾小路 藪内

笛

大炊御門 綾小路 徳大寺 久我

三條轉法輪 耳露寺 橋本

笙

花山院 清水谷 松木 四條 山科

篳篥

綾小路

右代々ハケマシモテアソヒ侍ルト見ヘタリ加様ノ儀定テハ
シルシカタキコトニ侍レト御神樂御遊等ノ記ニ代々
見エ侍ルユヘニ租シルシ侍ルナリ西園寺今出川等
ハ古来御師範ニイイルヨシ見ヘタリ近代伏見ニイラ
ル、カ園モマタムカシヨリ譜代ノ家業ニテ侍ル大炊御
門ハ兩道ノ御師範ニ参ルト見ヘタリ四过ハ権大納言
季経後土御門院ノ御師範ニ参テヨリコトナラフ當
道ヲ以テ家業ノマウニナリ侍ル已前ハ洞院家ヨリ
御師範ニイリシカトモカノ家断絶ノノチ四过代々
御師申シ侍ルナリ以上書アラハシ侍ル中ニモ當時ハ

誓古ノ沙汰シ侍ラサルトモカウモ侍ルニマ

蹴鞠

飛鳥井

難波

冷泉

綾小路

右飛鳥井ハ参議雅經難波ハ舎兄刑部郷宗長
以采譜代ノ家業トナレリ冷泉綾小路ハ近代其道
断絶此外賀茂ノ社司代々蹴鞠ノ時メレクハ侍ルト
見ヘ侍ルナリ

装束

三條 輪法輪

大炊御門

高倉

山科

右装束ハ有職故實ノ一也仍テ三條大炊御門等先

祖ヨリコトサフ是ヲ沙汰スルト見ヘ侍ル但三條ハ代々
装束色目等ノ事ヲサタシ大炊御門ハ代々御装
束著御ノ儀相續スト見ヘタリ然ルニ兩家トモニソノ
事断絶シ侍ルニマ近代ハ高倉山科コレヲ沙汰ス高
倉ハ本コレ大炊御門ノコトク著御ノ事ヲ奉行ス然ルニ
調進ノ儀モ相兼ルト見ヘタリ山科ハ内藏頭ノ職ニ
ツイテ調進ノ事ヲモト、スト見ヘタリ

陰陽道

天文曆數ノ事ヲツカサトルムカシハ一家兩道ヲ兼
シカルニ賀茂保憲曆道ヲソノ子光榮ニツタヘヌ

天文道ヲ弟子安倍晴明ニワタフコレヨリフタツニア
イワカル賀家ハ近代断絶ス當時ハ庶流身固及閑
等ノコトヲツトメ毎歳ノ御曆ヲ調進ス安家ハ右ノ
土御門ナリ天文道ヲ宗トシテ天変地妖コトキノ恠異
ヲウラナヒ申シテ勘文ヲタテマウル家ナリシカルニ當時
コノ事サタナシニ夕醫道ニ和氣丹波ノ兩氏アリ和氣ハ
正嫡近代断絶ス丹波ハ當時院ノ上北面ニ伺候シ侍ル
典藥頭ニナリテ屠蕪白散以下御藥ヲ調進セシメ
侍ルコレヲ醫陰ノ兩道ト稱シ侍ルコトナリ

外記

史

フミコト

外記ハ一ノ外記ヲ局務ト云清中ノ家兄ニ任ス然シテ清
家ハ秀賢朝臣昇殿ヲユルカレテヨリ外記ニ任セス已^{ステ}
三流^{リウ}断^{ダン}ス其職掌恒例臨時ノ公事除目叙位等ノコト
ヲ奉行ス又令ニ詔奏ヲカンカヘ公文ヲ読申ス事ヲ掌ト
ルナト見ヘ侍ル凡天下ノ文書ヲカキライテモロクノ勘例
ノ事ヲシル職ナリ史ハ一ノ史ヲ官務ト云職掌大政官
ノ文書コトクコレヲシル又令ニ判官以上ノ處分ヲ受
テ載録スル事ヲツカサトレリ文案ヲカンカヘ作りテコ
レヲ署^{シル}スト見ヘ侍ル公事ヲ奉行シ先例ヲカンカフル事
外記ニヲナシコレヲ兩局ト稱ス諸ノ宣旨ミナ兩局ト

之予書侍ル事也

諸家家葉終

寛文八戊申歳孟秋

